

〈医師用〉 保護者様：お子様が下記の感染症にかかり、登園されるときは意見書に提出をお願いします。

かかりつけ医の皆様

- こども園は、乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団での発症や流行をできるだけ防ぐことで、一人ひとりの子どもが一日快適に生活できるよう、下記の感染症について意見書の記入をお願いします。
- 感染力のある期間に配慮し、子どもの健康回復状態が集団での園生活が可能な状態となつてからの登園であるようにご配慮下さい。

意見書（医師記入）	
幼保連携型認定こども園えのみこども園園長殿	園児名 _____
病名（ _____ ）	
_____ 年 ____ 月 ____ 日から症状も回復し、集団生活に支障がない状態になったので登園可能と判断します。	
_____ 年 ____ 月 ____ 日	医療機関 _____
医師名 _____	

【熊本県小児科医会と熊本市保育園連盟との連絡会にて協議】

病 名	感染しやすい期間	登園のめやす
麻疹（はしか）	発症1日前から発しん出現後の4日後まで	※①解熱後3日を経過してから
インフルエンザ	症状がある期間 （発症前24時間～発症後3日程度までが最も感染力が強い）	※②発症した後5日を経過し、かつ解熱後2日を経過するまで（幼児（乳幼児）にあっては、3日を経過するまで）
風しん	発しん出現の前7日から、後7日間くらい	発しんが消失してから
水痘（水ぼうそう）	発しん出現1～2日前から痂皮形成まで	すべての発しんが痂皮化してから
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	発症3日前から耳下腺腫脹後4日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日を経過するまで、かつ全身状態が良好になるまで
結 核	—	医師により感染の恐れがないと認めるまで
アデノウイルス感染症 咽頭結膜熱・プール熱	発熱、充血等症状が出現した数日間	主な症状が消え2日経過してから
流行性角結膜炎	充血・目やに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いため結膜炎の症状が消失してから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失するまで、又は5日間の適正な抗菌性物質による治療を終了するまで
腸管出血性大腸菌感染症 （O157、O26、O111等）	—	症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48時間をあけて連続2回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されたもの
急性出血性結膜炎	ウイルスが呼吸器から1～2週間、便から数週間～数ヶ月排出される	医師により感染の恐れがないと認めるまで
髄膜炎菌性髄膜炎	—	医師により感染の恐れがないと認めるまで
新型コロナウイルス感染症	発症前2日間から発症後7～10日間は感染する可能性があると言われるが、特に発症後5日間はウイルスの排出量が多く、人に感染させる可能性が高い	※②発症した後5日を経過するまで、かつ症状が軽快してから1日以上経過するまで。無症状の場合、検査で陽性が確認された次の日から5日間経過するまで
帯 状 疱 疹	水疱を形成している間	すべての発疹が痂皮化してから

※① 解熱した次の日を第1日と数える

※② 発症とは、発熱の症状が現れたことを指す。発熱した次の日を第1日と数える。

